

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 28.11.25 第 192 回国会第 9 号

11 月 25 日（金）、第 9 回の委員会が開かれました。

1 公的年金制度の持続可能性の向上を図るための国民年金法等の一部を改正する法律案（内閣提出、第 190 回国会閣法第 54 号）

- ・原案及び修正案審査のため、参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- ・原案及び修正案について、参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）一般社団法人日本経済団体連合会 常務理事
特定非営利活動法人ほっとプラス 代表理事
東京大学名誉教授
全日本年金者組合大阪府本部 書記長
嘉悦大学教授

井 上 隆君
藤 田 孝典君
神 野 直彦君
加 納 忠君
高 橋 洋一君

（質疑者及び主な質疑内容）

白須賀 貴 樹君（自民）

- ・我が国の年金制度は世界の中でもかなり優れていると考えるが、各参考人の年金制度に対する基本的な認識を伺いたい。
- ・年金制度については持続性、公平性の確保を図る議論を行い、低年金、無年金等の問題は、別の制度や財源で対応することも議論すべきと考えるが、各参考人の見解を伺いたい。

郡 和 子君（民進）

- ・貯蓄ゼロ世帯や公的年金に頼って生活する高齢者の割合が高まっている中で、非正規雇用の若者が増加している状況について、藤田参考人の見解を伺いたい。
- ・老後の生活保障は年金のみならず様々な分野の政策によるべきという考えについて、各参考人の見解を伺いたい。

伊 佐 進 一君（公明）

- ・短時間労働者への被用者保険の適用拡大が実施されたが、

短時間労働者は就業調整をせず更に働いてもらうことになるのか、井上参考人に今後の見通しを伺いたい。

- ・マクロ経済スライドによる調整が極力先送りされないよう、キャリアオーバー制度だけでなく賃金スライドの徹底も重要だと考えるが、神野参考人の見解を伺いたい。

堀 内 照 文君（共産）

- ・「年金だけで全て賄うことはできず、ある程度の貯蓄が必要」との厚生労働大臣の答弁について、加納参考人の見解を伺いたい。
- ・障害年金に対するマクロ経済スライド適用の在り方については慎重であるべきとの社会保障審議会年金部会に提出された意見について、神野参考人の見解を伺いたい。

河 野 正 美君（維新）

- ・社会保険料の徴収漏れ及び歳入庁の必要性について、高橋参考人の見解を伺いたい。
- ・現行の賦課方式から積立方式への移行を含む年金制度の抜本的改革について、各参考人の見解を伺いたい。

2 議案の撤回許可に関する件

- ・民間あっせん機関による養子縁組のあっせんに係る児童の保護等に関する法律案（木村弥生君外 3 名提出、第 190 回国会衆法第 53 号）及び特別養子縁組の促進等のための児童の養子縁組に関する法律案（田嶋要君外 4 名提出、第 190 回国会衆法第 56 号）の撤回を許可することに決しました。

3 公的年金制度の持続可能性の向上を図るための国民年金法等の一部を改正する法律案（内閣提出、第190回国会閣法第54号）

- ・原案及び修正案について、安倍内閣総理大臣、塩崎厚生労働大臣、橋本厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- ・原案及び修正案について、高鳥修一君（自民）から質疑終局の動議が提出され、採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。
（賛成—自民、公明 反対—維新）
- ・原案及び修正案に対し、河野正美君（維新）が討論を行いました。
- ・修正案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。
（賛成—自民、公明、維新）
- ・修正部分を除く原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。
（賛成—自民、公明、維新）

（質疑者及び主な質疑内容）

（ここから内閣総理大臣出席）

高鳥修一君（自民）

- ・世代間の公平性確保の観点から見た本法律案の意義について、内閣総理大臣の見解を伺いたい。

角田秀穂君（公明）

- ・年金額が低下するようなデフレ経済から脱却し経済再生の歩みを加速させることこそが政治の責務であると考え、内閣総理大臣の見解を伺いたい。

柚木道義君（民進）

- ・各種世論調査結果を見た上で、本法律案に対し国民の理解が得られているかについて、内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・将来の年金が増えるという本法律案の成立後において貧困高齢者数及び生活保護世帯数がどの程度減少するのかを伺いたい。
- ・年金、医療及び介護に係る負担増をパッケージで試算した上で最低保障機能の強化策を講ずる必要があるのではないか。

井坂信彦君（民進）

- ・マクロ経済スライドにより基礎年金の所得代替率は3割低下するが、将来の高齢者の基礎的消費支出をおおむねカバーできるのか、内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・基礎年金の所得代替率が低下しても購買力は維持されるので問題はないと内閣総理大臣は考えているのか、確認したい。
- ・購買力維持が重要というのであれば、本法律案による賃金スライドの徹底は非常に問題があるのではないか。

高橋千鶴子君（共産）

- ・経済が再生してもマクロ経済スライドにより年金の給付水準及び購買力が下がるのは明らかだと考えるが、内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・見直し後の年金額改定ルールが適用されれば、名目の年金額は下がり、現役世代の将来の年金水準を下げることにもつながると考えるが、内閣総理大臣の見解を伺いたい。

河野正美君（維新）

- ・世代内・世代間格差の是正を図る観点から積立方式による新たな年金制度に移行すべきだと考えるが、内閣総理大臣の認識を伺いたい。

（ここまで内閣総理大臣出席）

初鹿明博君（民進）

- ・政府から独立した第三者機関に財政検証を依頼すべきだと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・見直し後の年金額改定ルールが適用された場合の基礎年金額への影響を試算した上で制度改革の議論を行うべきではないか。
- ・見直し後の年金額改定ルールが適用されて年金額が引き下げられると、基礎的消費支出を賄うことができないのではないか。

長妻昭君（民進）

- ・日本年金機構による不適切な障害年金の支給停止の件数及び最大の金額を伺いたい。
- ・将来の年金給付の水準について社会保険料等が上がっていく中で購買力を維持できるとの政府答弁の根拠を伺い

たい。

- ・社会保障制度改革国民会議報告書において年金制度について「将来の制度体系については引き続き議論する」とされており、今すぐ抜本的改革の議論を始めるべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

高橋 千鶴子君（共産）

- ・年金の制度設計を変えるには時間を要するが、政治の決断で税・社会保険料の負担増を止めて、高齢者世帯の可処分所得を増やすべきではないか。

- ・厚生年金のモデル世帯を実態に合わせつつ、多様なモデルを想定すべきと考えるが、厚生労働省の見解を伺いたい。

河野 正美君（維新）

- ・本法律案における経営委員会の設置等の年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)のガバナンス改革により、全体としてどれくらいの運営費の増加が見込まれるのか。